

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/10/29	2021/11/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	28,892.69	29,611.57	30,795.78	2021/9/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	35,819.56	36,327.95	36,484.75	2021/11/5	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	113.95	113.41	114.70	2021/10/20	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～政治的不透明感や米早期利上げ懸念の後退を背景に、大幅に上昇～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+718.88円(+2.49%)、TOPIXが+40.24ポイント(+2.01%)となり、政治的不透明感や米早期利上げ懸念の後退を背景に、大幅に上昇しました。業種別(東証33業種)で見ると、電気機器、繊維製品、空運業などの23業種が上昇した一方、海運業、鉄鋼、証券・商品先物取引業などの10業種が下落しました。週初1日は、①31日の衆議院選挙で自民党が絶対安定数を獲得したことにより、政治的不透明感が後退したこと、②岸田首相が新たな経済対策を11月中旬に策定する方針を表明したことを受け、積極的な財政出動への期待が高まったこと、③企業の中間決算で好決算や業績見通しの上方修正が相次いだことなどから、大幅に上昇して始まりました。2日はFOMC(米連邦公開市場委員会)を控えた様子見姿勢などからやや利益確定売りに下押しされるも、祝日明け4日は、前日のFOMCにおいてテーパリング(資産買入規模の縮小)の月内開始が決定されたものの、パウエルFRB(米連邦準備理事会)議長がFOMC後の記者会見で利上げに慎重な姿勢を示したことから米早期利上げ懸念が後退し、TOPIXは約1ヶ月ぶりの高値となりました。週末5日は、前日までの急ピッチな上昇に対する利益確定売りの動きなどから、反落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
11月8日	Mon	日本	景気一致指数	9月	91.3
		中国	景気先行CI指数	9月	101.3
11月9日	Tue	日本	第19期中央委員会第6回総会(6中総会)(11日まで)		
		日本	景気ウォッチャー調査現状	10月	42.1
		日本	景気ウォッチャー調査先行き	10月	56.6
		ドイツ	ZEW期待指数	11月	22.3
11月10日	Wed	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	10月	+6.8%
		中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	10月	+0.7%
		米国	CPI(除食品・エネルギー/前年比)	10月	+4.0%
11月11日	Thu	中国	独身の日、大規模オンラインセール		
11月12日	Fri	欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	9月	▲1.6%
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	11月	71.7

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～国内企業の決算を確認しつつ、経済活動正常化への期待を背景に緩やかに上昇～

今週の日本株市場は、国内企業の決算を確認しつつ、経済活動正常化への期待を背景に緩やかに上昇するとみています。先週の米英金融政策イベントについて、両国とも利上げを急がない姿勢を維持し、大きな波乱なく通過したことは一定の買い安心感に繋がるとみています。また、国内企業の中間期決算は、好悪が混在する中で締めてみれば底堅い内容が示されており、懸念されていた業績に対する過度な警戒感徐々に和らぐとみています。今後は、①新型コロナウイルスの経口治療薬を巡り、米メルク社が英国で承認されたことに続き、米ファイザー社も治験結果が良好であったと公表したこと、②米下院が総額5,500億ドル規模のインフラ投資策を可決したことなどから、経済活動正常化への期待が高まり、株価は緩やかに上昇するとみています。但し、インフレ高止まりへの警戒感が続く中で、今週は米中で物価関連指標の発表が相次ぐことから、これらが想定を大きく上回れば株価の重しに働く可能性があり、注意が必要と考えます。その他の注目材料として、日本では9日の景気ウォッチャー調査、米国では12日のミシガン大学消費者信頼感指数、欧州では12日のユーロ圏鉱工業生産、ドイツでは9日のZEW期待指数、中国では8日からの6中総会、11日の独身の日セールなどが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL: <http://www.alamco.co.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、「当社」といいます。)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。